

名古屋市立大学病院

病院長名	松川 則之
〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1	
所在地	
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は800床の病床、32の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療を行っています。今年度には3台目の手術支援ロボットが稼働予定で、最先端の医療をすべての領域で提供しています。また、がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受け、高度急性期病院・特定機能病院として役割を果たしています。さらに、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

□ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学泌尿器科専門研修プログラムは名古屋市立大学病院を基幹施設として、都会あるいは地方拠点病院からなる20の連携施設、さらに地域協力施設、都会診療所、地方診療所から構成されています。このほとんどが名古屋市内を中心に愛知県内にあります。この研修施設群において、ロボット支援手術や腹腔鏡手術などの最先端医療、泌尿器腫瘍、尿路結石症、小児泌尿器科、女性泌尿器科、排尿障害、生殖医療などの領域を専門的に実施しています。まさに泌尿器科領域のすべてを網羅した、専門医になれる環境を用意しています。

<研修モデル>

名古屋市立大学泌尿器科専門研修プログラムでは専攻医4年間で年次毎の研修目標と修練の内容を以下のように主に3パターンに設定しております。大学院進学は希望に合わせて行います。

- 1 連携病院 → 大学病院 → 連携病院
- 2 大学病院 → 1～2施設の連携病院
- 3 1～2施設の連携病院 → 大学病院



詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照
http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



□ 主な連携施設

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、西部医療センターおよび、みどり市民病院。みらい光生病院、安城更生病院、豊田厚生病院、海南病院、江南厚生病院、豊川市民病院、大同病院など全18施設を擁しています。

□ メッセージ

泌尿器科 部長 安井 孝周

日本をリードする泌尿器科医を目指そう！

泌尿器科専門医は、人として生まれる前の精子の段階から小児、成人にいたるまで様々な泌尿器疾患を診断、治療する診療科です。我が国の高齢化にともない、排尿障害、尿路性器悪性腫瘍、慢性腎疾患などが増加し、泌尿器科のニーズはますます高まっています。当プログラムで全世代の診療を経験し、世の中の全ての患者さんのためにがんばりましょう。



ロボット手術は、保険適応前の2011年より開始し、基幹施設では4台のロボットを運用、連携施設のほとんどが導入しています。内視鏡手術は、尿路結石を中心に国内随一です。小児泌尿器科、男性不妊など、特徴ある診療も本プログラムの特徴です。

診療技術のみならず、発表、研究の機会を設け、日本の泌尿器科を将来リードする人材を育成することを目指しています。

□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人	※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与／月額	357,900円～436,200円	(勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数／月	4回程度	(診療科により異なる)
・当直料／回	24,000円～34,000円	
・その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
・応募連絡先	担当者	管理課 医療人連携・育成支援係 専攻医募集担当
	電話番号	052-858-7527
	Eメール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp